

【リハビリテーション学部】感染症が疑われる場合の対応について (インフルエンザ等を疑う場合を含む)

2022.4.7改定
(復学の考え方第14版)
関西医科大学 リハビリテーション学部 医務室

【症状】

- ※息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、味覚・嗅覚障害等のいずれかの症状がある
- ※**37.0°C以上**の発熱、咽頭痛、咳、鼻汁、鼻閉感などの症状がある
- ※その他、感染症特有の症状がある

【医務室へ報告する】

- ※ 平日・時間内：TEL ① 072-856-2191（内線）722 医務室
② 072-856-2115（内線）707 事務室
- ※ 休日・時間外：mail kmu-reha@makino.kmu.ac.jp（報告用）
かかりつけ医もしくは居住地の保健所、帰国者・接触者相談センターに相談する

居住地の保健所、
帰国者・接触者相談センター
から紹介された医療機関を受診する

診察可能なかかりつけ医を
受診する

PCR検査実施

PCR検査なし

PCR検査センター
で受検

陽性者

【症状有り】

- ・保健所の指示で、自宅・ホテル・入院療養が判断される（概ね10日間）
- ・登校・外出禁止
- ・毎日、朝・夕の健康チェックを行い医務室に報告する
- ・状態変化があれば医務室に連絡する
- ・居住地の保健所にも連絡し、指示を仰ぐ

- ・発症した日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間以上経過後復学可とする
- ・受診不要だが、本人が健康不安を訴える場合は医師の判断により受診する
- ・病院実習開始1週間以内に復学する学生は、復学前受診が必要

※ 画像・PCR検査の要否は医師の判断

【症状無し】

- ・保健所の指示で、自宅・ホテル療養が判断される（概ね7日間）
- ・登校・外出禁止
- ・毎日、朝・夕の健康チェックを行い医務室に報告する
- ・状態変化があれば医務室に連絡する
- ・居住地の保健所にも連絡し、指示を仰ぐ

- ・7日間の待機後、症状が無ければ復学可

濃厚接触者

【症状有り】

- ・近医等を受診し、医師の判断に従いPCR検査を実施
(陽性であれば陽性者のフローへ)
- ・毎日、朝・夕の健康チェックを行い医務室に報告する
- ・状態変化があれば医務室に連絡する
- ・居住地の保健所にも連絡し、指示を仰ぐ

- ・近医等受診の結果PCR陰性もしくは検査を受けられない場合のいずれにおいても、濃厚接触した陽性者の陽性判定日を0日として7日間の自宅待機後、**8日目以降に附属病院受診しPCR検査で異常がなければ復学可とする**

【症状無し】

- ・濃厚接触した陽性者の陽性判定日を0日として7日間の自宅待機
- ・毎日、朝・夕の健康チェックを行い医務室に報告する ※症状なければ復学可
- ・状態変化があれば医務室に連絡する
- ・居住地の保健所にも連絡し、指示を仰ぐ

- ・同居者が感染し自宅療養の場合は同居感染者の発症日、または同居感染者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅いほうを0日として7日間自宅待機後復学可

※ただし、待機中に別の同居者が新たに陽性となった場合は、改めてその陽性確定日を0日として起算する

発熱・体調不良者

【症状有り】

- ・**体温37.0°C以上**は就学禁止
- ・毎日、朝・夕の検温をメールで報告
- ・健康管理室にて健康状態の確認を行う

- ・復学は、発症(発熱)から2日目までにPCR検査をし、「陰性」であれば症状消失後3日目以降に附属病院受診し、異常がなければ復学許可となる

※画像・PCRの要否は医師の判断

【濃厚接触者とは】

- 陽性者が症状を呈する2日前から
- ・同居
- ・長時間の接触（車内や航空機内など）
- ・マスクを外して会食をしたり、3密（密閉・密集・密接）の状況で過ごした場合（1m以内で15分以上）

※マスク着用し同教室での講義受講は、濃厚接触としない

（保健所から指示があれば従う）

※ 上記内容は、状況により変更する場合があります